

問題の概況、原因・要因、論点等の整理（案） 本城先生の意見を踏まえた赤潮部分の修正案

1. 水質の変化

問題の概況		原因・要因として指摘されている事項	論点、課題
赤潮	<p><有明海> 近年、魚介類に被害を与えるシャットネラ赤潮が発生するようになってきている。 赤潮の発生件数が増加してきている。</p>	<p>(1)小型珪藻（スケルトネマ、キートセロス） 気象条件（河川からの栄養塩類の供給、塩分の低下、晴天の継続） 透明度の上昇 (2)大型珪藻（リゾソレニア） 気象条件（高塩分、晴天の継続） (3)ラフィド藻（シャットネラ） 海域の富栄養化、底層の貧酸素化に伴う底泥からの鉄の溶出が原因となっている可能性がある。</p>	<p>富栄養化が進んできているか否か？ 底層の貧酸素化が進んできているか否か？</p>
	<p><八代海> コックロディニウム赤潮が魚類養殖に被害を与える。 なお、過去20数年のデータを整理すると、コックロディニウム赤潮の発生年と非発生年が数年ごとに交互に見られている。 赤潮の発生件数は横ばいであるが、1990年代から継続日数が長期化する傾向にある。 また、1990年代後半からは湾奥部でも発生するようになり海域全体にひろがってきており、夏期だけでなく四季を通じて発生するようになった。</p>	<p>渦鞭毛藻（コックロディニウム） 栄養塩類の負荷（陸域からの負荷、魚類養殖による負荷）</p>	